



生命の星・地球博物館の標本 de めりえ

- ① 写真を参考にしながら本物と同じような色合いにぬってみましょう。
- ② 空想力をはたらかせ「こんな色の生きものがいたらいいな」と思いながら自由にぬってみましょう。



ミヤコボラ

Bufo naria rana (Linnaeus, 1858)

貝がらが巻きながら成長していく、180度ごとに大きな肋(太いでっぱり)があります。この肋は殻の強度を増し、外敵から身を守る役割を持っていると考えられています。

大阪湾の周辺地域では食用として非常によく利用されていますが、それ以外の地域ではあまり利用されていません。神奈川県でもあまり見ることはないように思います。



【ポイント】 殻は一様な白のように見えますが、よく観察すると殻の外側は淡いオレンジ色、内側は淡い藤色をしています。肋や棘の先端の光沢にも注目してみてください。



神奈川県立 生命の星・地球博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History